

浜松市立都田南小学校 外国語活動実践報告

(1) 活動実践内容 《第5学年 Lesson3 “How many?”》全4時間

(1) 導入

- ・数字のフラッシュカード（1～20）

フラッシュカードを使い、数字の単語を練習する。

- 教師は、単語ごとにリピートを「2回ずつ→1回ずつ→児童だけで」という流れを定着させて、毎授業時に行う。繰り返して行うことで、流れやテンポをつかめるようになり、児童は、大きな声で、リズムに乗って発音できるようになった。

(2) 活動

- ・じゃんけんゲーム (Let' s play ①) を行う。

①教師は、英語でのじゃんけんの仕方を示す。

②児童は、教室を動き回りながら、10回じゃんけんをする。

③「Hi, friends」 (P10) を持ち、(勝つ○・あいこ△・負け×) を記入する。

④ゲームが終わったら、教師は、勝ちの数を”How many?” で尋ねる。英語で1～10を順に言いながら、児童が勝った数のところで挙手させ、一番多かった人がチャンピオンとなる。

- 男子同士・女子同士にならないように、「男女それぞれ5人ずつ挑戦しよう。」などと助言することで、コミュニケーションの相手が広がった。

- ・ナンバーカードゲーム

事前準備：教師が事前に、グループの数分、1～20までのカード作成し、袋に入れて用意する。(カードの大きさ：5cm×5cm)

① 4～5人グループを作る。

② 児童は、袋の中の1～20までのカードを机に広げる。

③ 手を頭の上に乗せて準備ができたなら、全員で“How many?” と聞く。

④ 教師は、“Three.” とランダムに数字を言う。

⑤ 児童は、教師が言った数字を取っていくが、この時に、取った数字を必ず全員で“Three.” と発言させて、次へ進む。

⑥ 一番多くのカードを取った人がチャンピオンとなる。

- 教師が、⑤にあるように、毎回数字をリピートさせることで、楽しいゲームとしてだけでなく、数字を覚えることにも役立った。

- ・英語の歌

英語の歌 “How many balls?” (Let' s chant) をみんなで歌う。

(2)成果・課題

児童は、5年生で、初めて授業で外国語に触れる。外国語活動では、何よりも、児童が英語を楽しんでいることが大切であると考え。ゲームをしたり、歌ったりしながら、外国語に慣れ親しみ、ALTとの連携で、英語を活用できるコミュニケーション力を養っていく。そして、6年生、中学生へとスムーズに繋がるように、正しい知識を伝えながら授業を積み重ねていくことが大切である。



4月からの外国語活動を振り返り、成果として感じることは、児童が授業に対して意欲的になり、一人一人が自信をもって活動できるようになったことである。特に毎授業で行うフラッシュカードを繰り返し行ったことで、児童がリズムに乗って単語を覚え、発音する姿が多く見られるようになった。初めは、自信がなかった児童も、全員で練習することで安心して声を出し、覚えることができた。このことが、次に行うゲームや歌にも役立ったと思う。

また、研修では、褒めることが児童の意欲に繋がることを学んだ。積極的に“Good!” “Fantastic!”などと褒めることを意識したことも、児童の意欲に繋がっていったのではないかと思う。

課題として感じたのは、ALTとの連携である。授業についての打ち合わせ時間が少ないため、ALTをうまく活用しきれていないように思う。これから、ALTと学級担任の連携方法を工夫し、さらにコミュニケーション力を高められるような活動を考えていきたい。

外国語活動を通して、児童が外国語を好きになり、外国語でのコミュニケーションへの意欲を持てるような授業を考えていきたい。そして、子供たちのコミュニケーション能力を高められるような授業が展開できるように、今後も教材研究に励みたい。